



教育目標 誰一人取り残さない 子供が育つ学校づくり

自分の思いを安心して話せる場・多様な考えに触れる場・生き方を考える場 ~全校道徳~

校長 白田 敏幸

道徳は、「特別の教科 道徳」として、平成30年から完全実施されています。教科化の理由としては、

- ①2011年に発生した滋賀県大津市での中学生いじめ自殺事件がひとつの契機
- ②深刻化・複雑化するいじめ問題に対して道徳教育の充実が叫ばれるようになった。

上記の2点があげられます。

また、従前の道徳授業の進め方として、教師が意図する正しい(と思われる)考え方や方向性があり、そこに子供たちを導くようにしていたという課題もありました。例を挙げれば、(実際、このような単純なやり取りではありませんが、当たらずとも遠からずというところず。)

「いじめはしていいですか？」 ⇒ 「ダメです。」

「どうしてですか？」 ⇒ 「人を傷つけてしまうからです。」

「今後、どのように行動していきますか？」 ⇒ 「誰とでも仲よくしていきます。」

といった、表面的な話し合いで終わってしまうことがあったという実態もあります。

本校でも、各学級で週1時間の道徳の授業を行っています。3年生以上においては、教師主導ではなく、児童のリーダーが進めるというスタイルにも挑戦しているところです。子供たちは、授業の中で自分の考えを自由に出し合い、道徳的価値について学んでいます。とてもあたたかい雰囲気の中で授業が進んでいきます。しかし、児童数が少なく、多様な考えに触れる機会が少ないということが、道徳の授業における本校の課題の1つになっています。

そこで、教員間の話し合いのもと、「全校道徳」に挑戦してみることにしました。この「全校道徳」という取組みは、大阪市立大空小学校で実践されているものを、谷地西部小学校風にアレンジしたものです。

全校道徳のルールは3つ。①自分の考えや思いを自分の言葉で話す。②間違った考え方はない。③どんな意見も否定しない。このルールのもと、一つの「問い」に対して、全校生30名が共に考える時間です。縦割り班ごとにグループをつくり自分の考えを出し合い、それらをホワイトボードに書いて視覚化します。教員も一つの班をつかって、教員なりの考えを出し合います。教員にとっては子供と共に学べる貴重な時間です。そして、全体共有を通して、一人一人が1時間を振り返ります。(詳細は12/7及び1/23の学校ブログを参照ください。)

まだ2回の実施ではありますが、子供たちの反応は上々です。以下子供の振り返りの一部を紹介いたします。「いろんな人の意見が聞けて楽しい。」「どんなことを話しても、自分の考えが否定されなかった。」「普段の道徳は、最後みんな同じ答えに近づくけど、全校道徳はみんなちがう意見を出していいなと思った。」「低学年も無理をしないで話し合いに参加している。」「先生方の意見は、自分たちが思いつかないものがあって、さすがだなと思った。」

今後も、月1回程度のペースで実施していこうと計画しています。全校道徳で大事にしていることは、以下の3つです

- ①どんな場面でも自分の考えを自分の言葉で話せる力を養うこと。
- ②多様な考えに触れる機会をもつこと。
- ③話し合いを振り返り、その授業で考えたことや聞いたことを自分の生き方にどう生かしていくか考えること。

まだ始めたばかりで、課題もたくさんありますが、継続していくことで、子供たちが自分の生き方についてしっかりと見つめる時間を学校全体で作り上げていきたいと考えています。



【全校道徳の様子】



【だんごさし】

1月24日(水)に、1・2年生で団子さしを行いました。おうちの方々も来校してくださり、子供たちと一緒に活動していただきました。伝統行事として活動するだけでなく、行事の意味についても子供たちにしっかりと伝えていきたいと思っています。



【就学時オリエンテーション】

令和6年度の入学予定者5名が来校しました。5年生の読み聞かせを聞いたり、5年と一緒に体育館で遊んだり等、楽しい時間を過ごすことができたようです。また、教室の机に座って、お絵かきもしました。来年度4月、西部小学校に入学するのを楽しみに待っています。



【交通指導員さんへの感謝の会】

日頃お世話になっている、田宮友和交通指導員さん、工藤真二交通指導員さんに感謝する会を、児童会主催で実施しました。

児童から、お礼の言葉と花束をプレゼントしました。事故なく安全に登校できるのも、交通指導員さん方のおかげであることを、子供たちもしっかりと理解しています。

指導員さんからは、「自分で判断して横断することの大切さ」についてお話をいただきました。「自分で考え、判断し、行動する」ことが、自分の命を守ることにつながります。

今後とも、よろしくお願いいたします。



【学習発表会】

本校では最後の授業参観を、これまでの学習の成果を発表する「学習発表会」と位置付けています。また、今年度より、体育館で全校音楽も発表することにしました。

授業に先立って、体育館で「県民歌 最上川」と「ぼくのひこうき（手話付）」を聞いていただきました。その後、各教室で学習発表会を行いました。子供たちの1年間の成長を見ていただくことができたと思っています。たくさんのご来校、誠にありがとうございました。

また、能登半島地震への義援金にもたくさんの方からご協力をいただきました。



〈1・2年生〉

国語の学習の成果を発表しました。1年生は、保護者の方からも学習に入っていました。

2年生は、自分で作った詩の発表をしました。



〈3・4年生〉

総合的な学習の時間に調べたこと(「やぶこ相撲」と「風祭り」)について発表しました。実際に自分たちも参加したことで、地域行事のよさや大切さについて実感できたようです。これは、1・2年生へ向けて発表することが目的なので、発表後に、保護者の方からよかったところや直した方がいいところについてのご意見もいただきました。



〈5・6年生〉

今年度1年間、紅花をテーマに様々な体験をするともに、調べ学習を進めてきました。今回は、その成果についての発表でした。3つのグループに分かれ、テーマごとに調べ、そのまとめについて保護者の方に聞いていただきました。さすが高学年。発表する態度も堂々としていました。



【卒業書写】

6年生の卒業記念として、毎年「卒業書写」を行っています。紅染めした紙に、自分が好きな文字1字を書きます。そして額に入れ、卒業式の時に掲示します。自分の名前から1文字選ぶ子が多いようです。

地域の先生 朝鳥 和夫 様より、毎年ご指導いただいています。当日のご指導だけでなく、一人一人に手本も書いていただいているところです。心より感謝申し上げます。



どんがホール 新春書初展

銀賞 3年 小野 志歩 4年 宇野 結愛 5年 鈴木 蓮